

先月、権利擁護の研修でお世話になった JD(日本障害者協議会)の 菌部さんに誘っていただき、スウェーデンとフィンランドに福祉施設の視察に行ってきました。メンバーはこれまでの視察旅行の中で一番少ない 15 名で、元学校教諭、元支援学校教諭で今は相談支援や教育相談をされている方や、同じ放課後等デイサービスの方、保育園の理事長や大学教員、保護者など様々な立場の方がいらっしゃいました。そしてなんと菌部さんは今回で 17 回目。同じ所を数年経って訪ねることで定点観測のように制度や仕組み等がどのように変わっているか確認したり、また新しい施設を視察したりしています。今回初めての私、今までの報告書や『北欧＝幸せのものさし(著:菌部 英夫)』を急いで読み、浅薄な知識で行って来ました。これからのニュースレターでは、この視察旅行で見聞きしたことや感じたことをお伝えできたらと思います。

私が 1 番最初に視察したのは、重い知的障害のある子ども達が学ぶ私立の基礎特別支援学校です。まず、スウェーデンの支援学校への入学の仕組み。入学資格基準とその責任はその子が生まれた基礎自治体が持ちます。遠くに引っ越しても大人になっても、その基礎自治体が生涯関わってくれます。この制度だけでも親は安心できますよね。日本では居住地の自治体に関わるので新しく 1 からの説明と手続きが始まり、保護者の負担は計り知れないです。

そして、教育(特別支援の専門教員)、心理(臨床心理士や心理士)、医療(医師)、社会(学校社会福祉士)の 4 判定により知的障害が明確となり、はじめて基礎特別支援学校に入学が可能となります。しかし、入学が可能というだけで、最終決めるのは保護者です。日本にも就学相談の仕組みはありますが、その質や実施方法は各自治体によってかなりの差があるようです。見学したディバー・ルーレンス基礎特別支援学校では校長のパトリシアさんと主任のエマさんが学校を案内し、たくさんの質問に答えてくれました。生徒数 24 名の教室は 4 つ、各教室には個室とトイレがついています。そして、この学校には放課後活動する仕組みも備わっていました。要するに、地域の学校の学童と同じ感じです。この日は「コミュニケーション」「家庭」「身体活動」「車椅子ダンス」に分かれて授業を見学しました。普段、金曜日は午前で授業が終わるそうですが、私たちのために時間割を変更してくれました。

私が見学した「コミュニケーション」の授業は、2 人の生徒にアシスタントの先生とエマ先生が 1 対 1 でついて、オーストラリアの言語療育士が開発した【PODD】という代替補完コミュニケーションシステムを使った会話でした。初めは数が少ない単語から練習していき、組み合わせで簡単な文章が作れるようになるそうです。ちょっと見たところ日本でもよく見かける【PECS】のような感じでした。続きは次号に・・・

菌部さんの HP



郡 奈美

とてもいい感じ!!

完成〜ハイチーズ!

3 年目を迎えましたが、この 4 月から参加している子どももいて、スタッフも新たな気持ちで取り組んでいます。母の日がある 5 月は大きさや色の違うカーネーションがたくさん。最初はレザーファンから挿していきませんが、緑の葉より色鮮やかなカーネーションを手に取り早く挿したくて、放せない〜となっていました。また、ハサミを持つと切りたい気持ちが止まらず、茎をチョキチョキ。スタッフがハッと気づくとオアシスに挿せるかどうかワキワキの長さしか残っていなかったのですが、本人はニコニコやる気満々でした〜。

アレンジメントができあがるとお片付け。お花が入っていたバケツを見て目がキラリン☆両手を浸してちょっとパシャパシャ、つかの間の水遊びを楽しむなどアレンジメント以外の場面もありますが、今回も素敵にできたアレンジメント、お部屋がパァ〜ッと明るくなりました。

研修会「成年後見制度について」

6 月 8 日、講師に当法人顧問弁護士の繁松裕行先生をお迎えして成年後見制度についての研修を行いました。参加者の中には、資料に並んでいる法律・制度・契約など普段使うことが少ない言葉の数々に「難しそう」と感じる人もおられ、少し緊張感が漂う中で始まった今回の研修会。先生は成年後見人は怖そうと思われたことがあると笑って話しておられ、そのエピソードに緊張感のあった会場の空気も和んでいました。また、「成年後見人はその人の意思を尊重しながら手助けをしていくのが仕事」「契約は日常の中に意識していないだけでたくさんあり、その行為を代理して行うのが成年後見人」という話もあり、成年後見制度を少し身近に感じることができました。難しい部分もありましたが、今日はまず第一歩。全然知らないことではなく、今日を機会に成年後見人について少しずつ知っていくきっかけになったと思います。

新しいスタッフの紹介

今年度よりスタッフとして勤務しています内田ジェニファーです。自然の中での活動や、体を思い切り使ったあそび、そしてどんなことにもおもしろさや喜びを見つけるのが得意技です。Angie では、たくさんの触れ合いや丁寧な寄り添いで子ども達の「個」を満たしながら、集団の中でもそれぞれの力が発揮できるようプログラムや環境を工夫していて、それが子ども達の心や体の育ちを支えていると強く感じます。支援員や保育士としての経験は浅いので、スタッフの皆さんや子ども達から学ばせていただくことばかりです。毎日「たくさんのありがとう」を感じながら、スタッフとして少しずつ成長していきたいと思っていますので、どうぞよろしくお願い致します。

ヨガも得意です!

1 ★ 4 版 第 3 種郵便認可物? 1 2023 (令和 5 年) 6 月 15 日 (木曜日) (C) AN20023

今年は 8 月開催決定!

第 3 回 今日は主役! 1泊2日

きょうだいキャンプ IN とちのき村 開催決定

号外

大好評をいただいているきょうだいキャンプは今年で 3 回目! 日程は 8 月 26 日(土)〜8 月 27 日(日)行き先は兵庫県美方郡の「とちのき村」です。「ツリーイング」「キャンプファイヤー」「沢登り」など、ここでしかできない体験が満載! この夏を思いっきり楽しみたいと思います!

お申込みは QR コードから! 締切は 7/21 (金)


